

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供に学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ってほしい
- 地域に誇りをもってほしい

【学校教育目標】

心身ともに健康で、豊かな知性と人間性を備えたたくましい子供を育てる

【めざす児童(生徒)像】

- ・よく考える子供
- ・思いやりのある子供
- ・じょうぶな子供
- ・がんばりぬく子供

前年度の学校評価

- ICT教育が大幅に進んだ
- 子供たちが楽しそうに登校している
- 挨拶をする子供にしてほしい
- いじめのない学校・学級づくりを進めてほしい
- 学力向上に努めてほしい

児童(生徒)の実態

- 進んで挨拶をしようとする意識が低い児童がいる
- 毎日楽しそうに登校している
- 家庭での学習習慣の定着が必要
- 学力の定着度が弱い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎仲間づくりの実施
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 道徳・人権教育の充実

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

具体的な取組

- チャレンジタイム(昼の帯学習)、放課後補充学習による学力の向上を目指す
- ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりを推進していく
- 理科学習の研究を軸に、子供が主体の授業づくりを推進する
- 自主学習ノートの活用を推進し、保護者と協力しながら自ら学ぶ習慣を身に付けさせる
- 朝読書、読み聞かせ活動により、読書習慣の定着を図る

- 学級活動等で、互いに協力しあう機会を設ける
- インクルーシブ教育を推進する
- いじめアンケートを毎学期実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、学年の特性にあわせ計画的に学習を進めていく
- 道徳教育を推進していく

- なわとび記録会を開催し、なわとび運動の充実により、体力の向上を図る
- 秋の運動会を開催し、体力の向上に役立てる
- 保護者の協力を得ながら、「早寝、早起き、朝ごはん」活動に取り組む
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り(学校だより、学年だより、学級だよりなど)やHP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 中学校区での小中、小中の連携を推進・充実する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティアクラブ、講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

指標

- ・県学習到達度調査の正答率が県平均に並ぶ(差が5%以内)
- ・勉強がわかると感じる(児童90%)
- ・研究発表会(理科)を開催する

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)
- ・友達と仲良くしている(児童90%)
- ・命の大切さ・社会のきまりを教えてもらっている(児童90%)
- ・不登校児童数 0人

- ・「早寝早起き朝ごはん」活動に取り組む
- ・避難訓練の実施(4回以上)
- ・なわとび記録会を開催する

- ・学校の様子がよく伝わったと感じる(保護者90%)
- ・校区こども園との交流会(2回以上)
- ・中学校との交流会の実施(1回以上)

◎：特に重点的に取り組むこと